

# 難病「ファブリー病」に効果

腎不全や心不全を起こし、  
やすい難病「ファブリー病」  
の治療に役立つ可能性が高  
い物質を、明治薬科大など  
が開発した。従来の治療薬  
にはアレルギーなどの副作用  
があり、新たな治療法開  
発につながるかと期待され  
る。22日付の米人類遺伝学  
会誌(電子版)に発表した。

程度と推定される。腎臓病  
や心臓病の隠れた原因とし  
て注目されているが、治療  
を受けていない患者も多い  
と考えられている。

研究チームは、GLAと  
構造が似た別の酵素「NAGGA」に注目。構造の一部  
を変え、ファブリー病のマ  
ウスに注射したところ、G

## 明治薬科大など新物質開発

ファブリー病は、特定の  
糖脂質の分解に欠かせない  
「GLA」という酵素が作  
れなかったり、すぐ壊れて  
しまう遺伝病。GLAがな  
いと、この糖脂質が腎臓や  
心臓などに蓄積し、腎不全  
や心不全、脳梗塞などの原  
因になる。

LAと同様に糖脂質を分解  
し蓄積が減った。

桜庭均・明治薬科大教授  
(臨床遺伝学)は「患者は  
もともとNAGGAを持って  
いるので、一部を改変した  
NAGGAを投与してもアレ  
ルギーの心配は少ない。新  
しい治療薬として有望」と  
話す。

患者は3000人に1人

【永山悦子】